

# 数学演習 I の進め方と単位認定について

担当: 佐藤 信哉 (解析学基礎 I), 山崎 武 (線形代数学 I)

## 1 演習の進め方

- 解析学基礎 I と線形代数学 I の演習を隔週で交互に行う。
- 前半 60 分間で問題を解いてもらい, 残り 30 分をその解説に充てる。問題数は大問 3 題程度であり, そのうち 1 題は思考過程を問う問題となっている。
- 思考過程を問う問題については, 答案用紙の右 3 分の 1 あたりを区切って, 左に問題を解くために必要な情報・計算を, 右に論理構造を含めた解答, もしくは, 問題をどのように考えているかについての説明を書く。(右ページの例を参照せよ。)
- 各々の演習の終了時に答案を回収する。答案は 10 点満点で採点され, 翌週の火曜日の昼休みに返却される。答案は, 各担当教員の研究室に各自取りに来ること。
- 得点が 5 点以下の者は, 後日, 担当教員の指定する時間帯で再指導を受ける。
- 演習欠席者は原則として, その週の再指導を受ける者と一緒に, 担当教員の指定する時間帯で演習を行う。ただし, 病気等のやむをえない事情で演習を受けられない場合は, 担当教員まで相談に来ること。

## 2 単位認定及び評価基準

- 解析学基礎, 線形代数両方の演習の得点が, (10 点満点中) 平均 6 点以上の者に単位が認定される。
- 成績は, 解析学基礎, 線形代数それぞれの演習で獲得した得点の両方を参考にして決定され, 優・良・可・不可で評価される。
- 演習の得点について
  - 各週の演習の答案は 10 点満点で採点され, この点数が評価の基準となる。
  - 再指導を受けた者で, 担当教員によりその単元を理解したと認められたとき, 演習の得点が 6 点に改められる。理解していると認められない場合は, 元の得点が最終的な得点になる。
  - 演習欠席者で, 再指導を受ける者と一緒に演習を行ったものについては, その演習の得点として, 理解したと認められたときは 6 点, 理解していると認められないときは 0 点が与えられる。
- 尚, 本演習の単位は, 対応する講義 (解析学基礎 I 及び線形代数学 I) の単位とは独立となっている。

## 3 質問があるときは。。

原則として, オフィスアワーに研究室に来るように。(オフィスアワーとは, 学生の質問を受けるために担当教員が確保しておく時間帯のこと。) オフィスアワーに来れない場合は, 担当教員に電子メールで質問日時について事前に問い合わせること。担当教員のオフィスアワー, 電子メールアドレス, ウェブページは下記のとおり。なお, 演習に関する情報は, ウェブページにも掲載される。

佐藤 信哉	研究室	総合科学部 2 号館 3 階 2302
	オフィスアワー	金曜日 V コマ
	メールアドレス	nobuya@mi.cias.osakafu-u.ac.jp
	ウェブページ	<a href="http://carbonara.cias.osakafu-u.ac.jp/nobuya">http://carbonara.cias.osakafu-u.ac.jp/nobuya</a>
山崎 武	研究室	総合科学部 2 号館 3 階 2301
	オフィスアワー	木曜日 V コマ
	メールアドレス	yamazaki@mi.cias.osakafu-u.ac.jp
	ウェブページ	<a href="http://wwwmi.cias.osakafu-u.ac.jp/yamazaki">http://wwwmi.cias.osakafu-u.ac.jp/yamazaki</a>